

平成22年度 新産業振興課組織目標

総合的な評価

依然として厳しい経済情勢の中、環境産業創造会議グループ研究会の設置件数や、販路開拓や受注拡大に向けた支援のびわ湖環境ビジネスメッセ開催期間中の商談件数、伝統産業の後継者育成については、事業執行を工夫して目標を上回ることができた。

番号	項目名	目標の内容	(目標値)	評価	(達成度)	今後の対応
1	高いポテンシャルを活かした環境への取組支援	環境産業創造会議 グループ研究会設置件数	2件	(社)滋賀経済産業協会の川上川下ネットワーク構築事業(中小企業基盤整備機構委託事業)において分野別分科会3件(新エネルギー、次世代自動車、次世代住宅)を設置した。		引き続き、グループ研究会の設置等を支援し、川上中小企業と川下大手企業とのマッチングを図る。
2	科学技術振興、技術開発等による産業の競争力アップ	産学官連携共同研究数 (工業技術総合センター) (東北部工業技術センター) (新産業振興課)	49件 (26件) (18件) (5件)	単独研究に加えて、多くの研究職員が共同研究に携わっており、研究ポテンシャルとともに、コーディネータ機能も発揮され、目標どおりの成果があった。 産学官連携共同研究数 49件 内訳 工業技術総合センター 24件 東北部工業技術センター 18件 新産業振興課 7件		産学官の共同研究は、産学官連携による新事業・新産業創出の基礎となるものであり、今後とも知の力を活かし、学のシーズ、産のニーズの把握とそれらのマッチングに努める。
3	競争力強化に取り組む中小企業への支援	チャレンジ計画の認定 チャレンジ認定計画の事業化数	累積50件 累積16件	認定審査会1回開催 チャレンジ計画の認定(11件) 累計55件 チャレンジ計画の実施状況報告を元に集計 事業化件数(2件) 累計14件 より事業化を促進するための取組が必要		認定時においては関係機関とも協力し、より精度の高い事業計画とするためのフォローに努める。 実施期間中については競争的研究資金やマッチング会等の情報提供や現地相談会等により研究の推進および課題の抽出、改善に努める。
4	販路開拓や受注拡大に向けた支援	びわ湖環境ビジネスメッセ開催期間中の商談件数 下請取引斡旋紹介件数	3,000件 260件	商談件数の達成には、景気回復を牽引する環境ビジネスに取り組む多くの出展者を確保するとともに、商談目的をもった多数の来場者が必要である。出展者数は過去最多313者の出展規模、来場者数も例年並みで活気のある見本市を開催することができた。その結果、メッセ2010開催期間中の「今後のセールスにつながる見込みのある商談」は3,600件と目標を上回ることとなった。 専門調査員の報告によると下請企業の7割がリーマンショック以前の水準に戻っているが、予断を許さない状況が続き、当初の目標を下回った。 取引斡旋相談件数 858件 取引斡旋紹介件数 240件 取引成立件数 11件		市場は今後一層新エネ、省エネ分野に関心が深まることが予想されるため、これらの分野において先導的な技術を持つ企業の出展勧誘に努めるなど、商談成果につながる展示商談会を目指した取組を推進する。 平成23年度も引き続きプラザに専門調査員を配置し、年間約600社を目標に企業訪問することにより企業ニーズの収集と提供を的確に行い、商談会を開催するなど取引機会の拡大を目指す。
5	伝統産業の振興	後継者育成補助金対象者数 窯業技術者養成研修修了者数 県内就職者数(窯業技術試験場)	累計60人	伝統産業の後継者育成は、産地組合等により順調に取り組まれており、当初の目標を越えた。 伝承者育成(16人) 累計69人 22年度内訳 後継者育成補助金対象者数 5人 窯業技術者養成研修生うち県内就職者数 11人 合計 16人		今後は、育成した後継者がその技術を活かして活躍することができるよう、伝統産業そのものの活性化に向けて支援を行う。

達成度欄 : (目標以上の実績があった) (ほぼ目標どおりの実績) (目標値に達しなかった) × (未実施)